

- 1 審議会名 武石地域協議会
- 2 日 時 平成 22年 3月 16日 午後 7時 00分から午後 9時 00分まで
- 3 会 場 武石公民館 第 1会議室
- 4 出席者 新井繁雄委員、井出守雄委員、伊藤隆子委員、上野正司委員、柿島祐子委員、木下文雄委員、清住章雄委員、小山洋江委員、桜井敏昭委員、佐藤栄作委員、城下ゆかり委員、高田忍委員、滝沢由美子委員、中嶋和夫委員、橋詰真由美委員、松代典之委員、依田せつ子委員(欠席 4名)
- 5 市側出席者 宮下センター長、広川地域振興課長、山口市民生活課長、犂山産業観光課長、桜井建設課長、近藤健康福祉課長、伊藤教育事務所長、児玉課長補佐
- 6 公開・非公開等の別 公開
- 7 傍聴者 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 22年 3月 31日 作成部局課名 武石地域自治センター 地域振興課

協 議 事 項 等

- 1 開会(広川課長)
- 2 会長あいさつ(桜井会長)
- 3 センター長あいさつ(宮下センター長)
- 4 報告事項
(1) 意見書「武石地域全域公園化構想について」について
【説明要旨】
平成 22年 2月 26日 上田市役所において意見書「武石地域全域公園化構想について」を桜井会長から市長に直接提出する。
小山副会長、清住地域振興部会長、橋詰市民生活部会長 同席
- 5 協議事項
(1) わがまち魅力アップ応援事業の選考について
本年は、特色あるまちづくり応援事業 2 事業が対象となる。
武石ソフトボール連盟 30 周年記念事業
プレゼンタ 武石ソフトボール連盟会長豊田経雄氏 副会長中原房一氏 事務局下村孝之氏
【説明要旨】
会発足 30 周年を記念して、各種イベントを企画した。式典や会員相互の試合のほかに、青少年を対象にしたイベントや、他スポーツ愛好者を対象にしたイベントを計画、また、夜間や冬季間に誰でも使用できる簡易トレーニング施設の設置などを補助対象事業として申請した。この事業を実施することで、ソフトボールの普及と底辺の拡大を図りたい。
【質疑】
(委員) 武石ソフトボールクラブの特色は何か。
(説明者) 30 年間 10 チーム以上で連盟が継続していること。
(委員) 簡易トレーニング施設に使うビニールハウスのビニール厚は 0.13mm より 0.15mm のほうがいいと思うがどうか。
(説明者) 耐用年数を考えながら、農業の専門家にお聞きしながら決めていきたい。ビニールハウスの指導を願いたい。
(委員) 相談に乗りたい。長く使える施設としてほしい。

(委員) 記念式典の内容は何か。

(説明者) 歴代役員の中から功労者を表彰したい。

(委員) 小中学生を対象とした教室は大変よいことなので是非実施してほしい。(同様の意見複数あり)
選考

つつじ色に染めていく賑わいの丘 武石公園整備事業

プレゼンタ セツ友会 会長小林和昭氏 副会長伏見浩幸氏

【説明要旨】

本会は、セツ自治会の消防団退団者を中心にした会で、セツ自治会内にある武石公園の整備をボランティアで実施している。かつての武石公園は、ツツジの頃には出店があり、音楽も流れ、賑わっていた。往年の賑わいを取り戻すために環境整備をしたい。当初はセツ自治会で申請を考えたが、武石公園の整備は一自治会の活動では手に余るため、東側の遊歩道の整備と電飾用のポールを設置、既存のつつじの整備に絞って特色あるまちづくり応援事業で申請した。将来は武石全域公園化構想にも関係するようにしたい。

【質疑】

(委員) 武石公園のつつじの復活は、地域全体の願いなので頑張してほしい。

(委員) 新たなつつじの植栽はするのか。

(説明者) 遊歩道の整備とポールを設置だけで補助金限度額になってしまう。今あるつつじの養生はしたいが新たな植栽は現状では計画していない。

(委員) 地域協議会では「武石地域全域公園化構想」として、既存公園の整備も大きな課題として考えている。これから継続的に事業を実施するなら、公園化構想に関連させて活動を広げていただきたい。

(説明者) 活動を広げていきたい。

(委員) 今あるつつじは、最近花が少なく、木も勢いが無い。これは、芯喰い虫のせいといわれている。枯れた木の根をみると、穴があいていて虫がいる。この芯喰い虫対策も研究いただければと思う。

(説明者) 実際に根を観察し、対策を考えたい。

(会長) 武石公園の整備は、わがまち魅力アップ応援事業以外の手段で公園化をしてほしいとお願いしてある。セツ友会の皆さんも協力をお願いしたい。

選考

既存事業の説明

【説明要旨】書類審査を実施した申請事業

22年度 特色あるまちづくり事業 1事業

2年目 武石特産品検討委員会

22年度 個性あるふるさとづくり事業 5事業

3年目 余里自治会「一里花桃の里、余里自治会整備事業」

2年目 藪合自治会「ほたる復活と水生生物観察エリアの自然景観整備」

2年目 鳥屋自治会「鳥屋城をはじめとする歴史遺産巡りふれあいの里」

2年目 大布施栗栗自治会「もみじ橋の周辺整備事業」

2年目 西武自治会「すぐりの里造り事業」

(2) 地域振興基金持ち寄り分基金の用途について

(会長) 二期目の地域協議会の最終会議にあたり、委員の皆さんから地域振興基金持ち寄り分基金の用途について委員個々の意見を聞きたいとの要望があった。地域協議会としてまとめや方向性を出していくことはできないが、委員の皆さんの願いとして次期の委員会に残したい。それぞれの立場で基金の用途について御意見をいただきたい。

(委員)わがまち魅力アップ応援事業のような事業を継続してほしい。基金を長く使えるように、各自治会や、団体のための資金であってほしい。若者や新規住者が増えるよう、市営住宅や住宅用の土地の確保などに使ったらどうか。

(委員)二点、雲溪荘は経営が限界と思う。廃業して特養ホームとしたらどうか。子檀嶺神社の社務所が老朽化している。文化財的価値もあるので宗教だから駄目でなく、改修を工夫してほしい。

(委員)雲溪荘の改修を公社剰余金や基金を使って継続してほしい。獣害対策に基金を使ってほしい。

(委員)みんなが納得して使えるようにしてほしい。

(委員)どこの家にもパソコンがある時代、告知放送や緊急放送などに代わり、パソコンを使ったお知らせなどができればと思う。

(委員)スキー場の整備を練馬区が協力するなら実現してもらいたい。雲溪荘は今のままでは終わってしまう。整備して民間業者が経営できるよう検討していただきたい。公園化構想は、苗の補助だけでなく、昔からある橋など補助をしてほしい。獣害も大きな観点から頭数削減に取り組むべきと思うが、無理なら防護柵を検討してほしい。

(委員)基金は、武石の先人が土地を売って作ったもの。我々だけで決めていいのかと思う。小出しに使っていて残念だ。武石が過疎にならないようなものを使ってほしい。公社の剰余金は、公社の皆さんの考えを聞いてほしい。

(委員)みんなが納得しているものを、獣害対策や公園化構想で武石公園を昔の姿にしてほしい。

(委員)雲溪荘に基金を使えば基金が終わってしまう。この先お金をかけて全部使ってしまうのは反対したい。

(委員)ただ一点、獣害対策を実施するべき。

(委員)今年武石の新生児は14人、お産が大変になっている。丸子地域に産院の分院をもってこれないかと思う。

(委員)獣害対策、雲溪荘の存続、森林資源を活用して何かできないかと思う。

(委員)教育関係の基金を設けて残しておいてほしい。10年で終わるのでなく将来にわたり残っていくものを使途としてほしい。

(委員)二点ある。自治会集会所の庭の整備に使ってほしい。荒廃農地を利用する事業を、たとえばクラインガルテンなど。

(委員)児童館の太陽光発電や備品の充実に使ってほしい。小学校の教職員の市費による増員に使ってほしい。

(会長)以上、会長課題として次の協議会で検討してほしい。

(3) 武石児童館の愛称の選考について

事前に選んできた候補名を一人一人発表、協議する

(会長)200を超える応募の中から、各委員には候補作品を絞っていただいた。この中から地域協議会の子育て支援関係委員で後日協議して決定いただきたい。本日が最終の協議会となるので発表は、4月の開所の折になるがよろしいか。

一同可

(会長)第2期武石地域協議会 終了のあいさつ

5 閉会(小山副会長)